

令和3年(2021年)6月14日

新型コロナウイルス感染症対策本部  
本部長 柏崎市長 櫻井 雅浩 様

議会新型コロナウイルス感染症に関する対策支援本部  
本部長 柏崎市議会議長 真貝 維義

### 新型コロナウイルスワクチンの円滑かつ迅速な接種に向けた提言

柏崎市は、去る5月18日より65歳以上の高齢者に対するワクチン接種を始めました。これまで大きなトラブルもなく、順調にワクチン接種が進んでいると承知をしております。

政府はこれまで、高齢者に対するコロナワクチンの接種を、7月の末には終わらせる方向で、地方自治体にワクチン接種の体制強化を指示しています。6月初旬のマスコミ報道によると全国の約99パーセントの自治体が7月末完了予定とのことであります。

このような取組の中、去る9日、菅首相は、「10月から11月にかけて希望する国民全てに終わることも実現したい」と表明しました。当市においても早急に64歳以下の接種スケジュール等を明確にし、11月には希望する市民に対する接種完了目指すべきと考えます。

また、日本経済は、内需が悪化しており、市内の経済は低迷をしています。

世界を見ますと、ワクチン接種が普及をした米国はコロナ危機からの回復ペースが加速しています。夏頃には集団免疫を達成する見込みであり、経済活動が正常化すると予想されています。

米国などの例を見るまでもなく、ワクチン接種による集団免疫を達成し、日常生活を正常化することが最大の経済対策であります。

そのためには、何よりも、市民への円滑なワクチン接種を進めることが最重要と考えます。コロナワクチンの接種は、今までにない全市的事業であり、希望する全ての市民が接種対象です。柏崎市におけるワクチン接種について、下記のとおり緊急要望するものです。

### 記

- 1 医療関係者等から最大の協力のもと、商工会議所、企業や職域団体等の理解を得て、早期に集団接種を行うこと。
- 2 64歳以下の接種スケジュールを早期に発表し、接種の実施を推進すること。

と。

- 3 全国でワクチン接種が進むことにより経済活動も進むことから、移動のための PCR 検査（有料）を市内で受けることができるようにすること。
- 4 ファイザー社ワクチンの対象年齢が 16 歳以上から 12 歳以上に拡大されたが、接種は保護者の理解のもと、夏休みの期間の活用など学校生活に支障のないよう検討を進めること。
- 5 留学する学生・生徒のワクチン接種は、柔軟に対応すること。

以上